



たいとうこども園だより

令和2年度 6月号

第75号

台東区立たいとうこども園

園長 池田美恵子

新緑の季節となり園庭の木々は美しい緑の姿をみせています。例年なら、新しい環境にも慣れ、子供たちの賑やかな声が響く園内も、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い、休業・登園自粛となり、園としては少し寂しさを感じています。しかし、各ご家庭にご協力いただき、園児、保護者、職員が命を守る行動、取り組み、姿勢をもちつつ過ごす2ヶ月が過ぎました。ご理解、ご協力に大変感謝申し上げます。緊急事態宣言解除後も感染拡大防止のための対策を引き続き行ってまいりたいと思っております。

<健やかに過ごすために…>

園生活における配慮すべきことは数多くあります。今まで以上にクラスターを防ぐため、3密（密閉・密接・密集）を意識することが必要になります。子供たちに理解できるような健康教育の実施や、環境設定の工夫をしていきたいと思っております。乳幼児期に養護と教育の両面を提供していく機能を兼ね備えているこども園であることを踏まえ、どのような園生活が安全で安心につながるかを慎重に考え実践していきます。これからの“新しい生活様式”がどのようになるか見守りながら、各ご家庭にご協力いただく場面もあると思っておりますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

乳児期のアタッチメントの重要性、友達と関わって遊ぶことの重要性、それらは子供たちにとって今しかできないことであり、今が育つ時という場面がこれから、たくさんあり、その時々には配慮が必要になることが予想されます。一人ひとりの成長過程を見守り、援助していくことは変わりません。より安全に、より安心して過ごせる園でありたいと思っております。

<マスクの配布について>

園児に1枚、区内事業者より台東区の子供たちに寄贈いただいたものを配布させていただきます。園で利用する場合は必ず、記名してください。子供のマスクの取り扱いについては先月、Kindyの保護者連絡にて配信させていただいたとおり、マスクを外した際の一人ひとりの保管方法を統一しました。各ご家庭でもお子様とご確認いただけますと幸いです。

<法人の取り組み>

ご協力期間中、第3弾、第4弾と子供たち、ご家庭に保育の提供としてお送りいたしました「ワンルーフかざぐるま」「いろみずあそび」は、親子でおたのしみいただけましたでしょうか。

前月にもお知らせいたしましたが、法人では、社会貢献として職員が手作りで作成したおもちゃのお届け、歌や遊び、食事メニュー作りなどYouTubeやInstagramで配信をしています。







6月生まれのお友達

★おたんじょうび おめでとうございます★

ホームページでの公開は差し控えさせていただきます。

たいとうこども園での生活ルール

園の取り組み(◎印)、各ご家庭にご理解、ご協力いただきたい事項(●印)は以下のとおりです。今年度の行事の予定変更、開催方法等に関しては未定です。園だよりまたはKindyにて配信します。よろしくお願いいたします。

開門	◎換気・清掃・殺菌を終えてから受入れをしています
<p>順次登園</p> 	<p>◎毎朝ご家庭で、登園 30 分前以内に検温してください</p> <p><0～2歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ●園に着いて再度検温後、保育室前の検温カードに記入してください 各保育室前で手指消毒をお願いします <p><長時間児3～5歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご家庭で、以前郵送した「検温カード」に記入し、登園時に持参してください 各保育室前では手指消毒をお願いします <p><短時間児3～5歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご家庭で、以前郵送した「検温カード」に記入し、登園時に持参してください。園では玄関前でカードをひとりずつ確認後、お子さんのみ園舎内に入室となります 職員への伝達事項は玄関で受け入れる職員が一括してお受けし、各クラスへ伝えます ●保護者の方は入室できない事をお子様にも伝え、保護者の皆様は速やかにお引き取り下さい
<p>あそび・活動</p> 	<p>◎室内、園庭にて過ごします</p> <p>◎「友達と近づかない・大きな声をださない」など禁止する言葉がけはせず「少し間をあげましょう・相手に聞こえる位の声で話しましょう」など肯定的な言葉がけに努めます</p> <p>◎4～5歳児クラス対象に看護師より『健康教育』を実施し、感染症予防を理解し行動してみることで習慣化できるよう努めます</p> <p>◎園外活動はねらいに応じて実施しますが、固定遊具を使う公園での活動は当面の間、控えます</p> <p>避難車、バギーを活用する際は、人数を調整します</p>
<p>排泄・着替え</p>	<p><0～2歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎少人数ずつ排泄、着替えの援助をします <p><3～5歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎着替える場所は羞恥心に配慮しつつ、1人ひとりのスペースを広く確保できるようにします 
<p>食事</p> 	<p><0歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎食具の衛生殺菌に十分留意し、最少の人数で介助します <p><1～3歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎できるだけ対面での食事を避け短時間で食事を済ませるように配慮します <p><4～5歳児クラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎対面での食事を避け、食事中の会話を減らし短時間で食事を済ませるように配慮します
<p>午睡</p>	<p>◎一人ひとり間隔をとり、コット(簡易ベッド)を敷き、換気、空間除菌を徹底します</p> <p>◎マスクは個人の保管袋にしまうよう促し、確認します</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マスクには記名し、各ご家庭でも取り扱いについてお子さんとお話してください 
<p>おやつ</p>	◎食事同様の配慮を行います
<p>あそび</p>	◎延長保育の人数に応じて活動する部屋を移動します
<p>順次降園</p>	<p>◎当面の間、引き渡しに要する時間を短縮させていただきます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●園内の滞在時間は短くし速やかに降園願います 
<p>閉門</p>	◎次の日の受け入れ準備をします



看護師より



梅雨の時期になり、じめじめした日が多くなります。気温の変化が激しく体調を崩しやすいので、注意が必要です。気温がそれほど高なくても、急に晴れた日や、むしむした日は要注意です。水分を十分にとり、体調がおかしいと感じたらすぐに休養をとるようにし、子供も大人も、体調を整えて楽しく元気に過ごしましょう。

【5月 感染症報告】

なし



手洗い・うがいを
しっかりしましょう

【6月4日は虫歯予防デー】

歯磨きも大切ですが、乳幼児期には食生活を整えることが重要です。

☆よく噛むこと☆

- ① 食べ物を細かくかみ砕き、消化を助ける
- ② 味がよくわかり、美味しく食べられる
- ③ 唾液がたくさん出る→口の中をきれいにし、虫歯を防ぎます
- ④ 脳の働きが活発になる
- ⑤ 満腹感→食べ過ぎを防ぐ

※しっかり噛んで食べると、身体に良いことがたくさんあります。



【梅雨の時期の注意点】

☆食中毒☆

食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。

☆事故☆

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意しましょう。

☆風邪☆

寒暖差が激しくなるので、衣服での体温調節はこまめ行って下さい。

引き続き、手洗いうがいは欠かさず行いましょう。





新型コロナウイルス対策～食材の取り扱いについて～

厚生労働省では、2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。新型コロナウイルスは熱（70度以上で一定時間）及びアルコール（70%以上、市販の手指消毒用アルコールはこれにあたります）に弱いことがわかっています。料理をする際は、こまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。

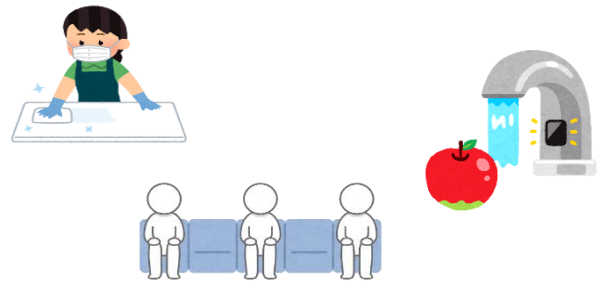
WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

※厚生労働省 HP 参照

園の給食での取り組みについて

- ・ランチルームの換気、消毒、手洗いの徹底、手指消毒
- ・子どもたちが、密にならないように間隔を空けて着席
- ・生野菜の提供中止(一度加熱して提供しています)
- ・果実提供の際は、流水で十分に洗浄してからの提供

※当面の間、食育活動は中止



子どもの達の口の中が大変な事になっている？

～歯と歯の間にすき間が必要～

近年、虫歯で通院する子ども減ってきているのにも関わらず、「歯並び」に関する通院患者は増えていっているといわれています。歯列を含めた口や顔、顎の成長不足で歯並びが悪くなり、大人になった時歯周病の発症率が上がってしまいます。正常な歯や顎の発達のためには、乳歯の時期に“すき間”がある事が大切です。乳歯よりも大きい永久歯が生えてくるためには、上顎の乳歯と永久歯の大きさの差は平均7.66mm必要と言われていています。不足すると、歯並びが悪くなってしまいます。



すき間が8mm以上
ある良い！



乳歯から永久歯



では、永久歯が生えそろう6～7歳までに、乳歯にすき間ができるかはどうやって決まるのでしょうか？子どもの成長は「栄養」「運動」が大切です。歯列の成長にも「噛む」という運動が必要です。細かく刻まれた柔らかい食べ物ではなく、歯列や顎に負荷がかかる硬さの物、前歯でかぶりつくような食材を食べることが大切です。6月は園の給食でもよく噛んで食べる食材を使用した献立を取り入れていきます。ご家庭でも子どもたちの口の中の成長を確認して、歯や顎を使って“よく噛んで食べる献立”を積極的に取り入れてみて下さい。※乳児は各年齢に合わせて、食材の大きさや提供方法に配慮しましょう。

※各年齢や個々の発達に合わせて、食材の大きさや提供方法に配慮しましょう。

保護者の皆様

社会福祉法人東京児童協会
理事長 菊地 政幸

東京児童協会が取り組む新型コロナウイルス感染を予防する為の 『新しい生活様式に則した保育のかたち』について

日頃より、事業運営に関してご理解とご協力を賜り有難うございます。

新型コロナウイルス感染症について、当法人では対策プロジェクトチームを立上げ、子どもと職員の安全の確認、職員への教育と意識改革、保育の在り方について議論を重ねてきました。これからの新しい生活様式に則した保育のかたちを創ってまいります。常により良い方法を模索し「新しい生活様式」に変化し続ける努力をしていきたいと思っております。

保護者の皆様には、ご理解とご協力を頂きたくお願い申し上げます。

【3密を避ける】

**こども園は集団生活の場であり、どうしても3密になる場面がありますが
密集・密接・密閉を避けるための策を講じます。**

- ・窓を常に開けて風を通して換気します。
- ・遊び場所はできる限り分散できるように環境を整えます。
- ・園外に出る際はバギーに乗せる人数を調整します。
- ・受け入れ、引き渡しは基本的にできるだけ玄関で行います。
- ・引き渡しは5分以内で行い、速やかに降園願います。
- ・食事は座る場所を工夫したり、飛沫感染が起きない環境をつくれます。また、盛り付けや配膳は職員が行います。
- ・午睡時は、間隔を開けたり頭の位置を工夫し近くならないよう配慮します。

【保健衛生】

- ・園児は毎日検温して平熱であることを確認し、熱がある場合と風邪の諸症状がある場合は、お預かりできません。保護者の方も毎朝の検温をお願いいたします。
- ・保育中に発熱したり、風邪の諸症状が出た場合には、速やかにお迎えをお願いいたします。
- ※前日に37.5℃の発熱や呼吸器症状（息苦しさ、呼吸困難等）が認められた場合には、解熱後24時間以上経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで園の利用ができません。
- ・子どもたちが触れる玩具等は洗浄、消毒を継続的に行います。
- ・保護者、外部業者など、来園時は検温・マスク着用、手洗い消毒を徹底します。
- ・園児に健康教育や約束事やマナー等の話は継続的に伝えていきます。

【行事】

各行事については、コロナ感染状況、各自治体の動向を鑑み検討します。中止または延期の決断をせざるを得ない場合もございますのでご了承ください。